



予科練関係施設の紹介

【予科練平和記念館】



武器学校から
徒歩約5分
(茨城県稲敷郡
阿見町廻戸)

阿見町が平成22年に開館し、予科練習生の歴史や阿見町の戦史の記録が保存・展示されています。雄翔館等と隣接しており、休館日は月曜（月曜が祝日の場合は、その翌日）及び年末年始です。

【筑波海軍航空隊】



友部インター
チェンジから
車で10分
(茨城県笠間市)

茨城県笠間市旧友部地区に筑波海軍航空隊が現存し、映画「永遠の0」の撮影にも使われました。建造物は展示館として一般公開しています。

【大岩田の一本松】



武器学校から
徒歩 15分
(茨城県土浦市大岩田)

予科練生が霞ヶ浦を航行する際の目標となっていました。「予科練の松」と呼ばれ数々の思い出を残す老松でありましたが枯死し、現在は三代目「大岩田の一本松」として、地元住民から親しまれています。

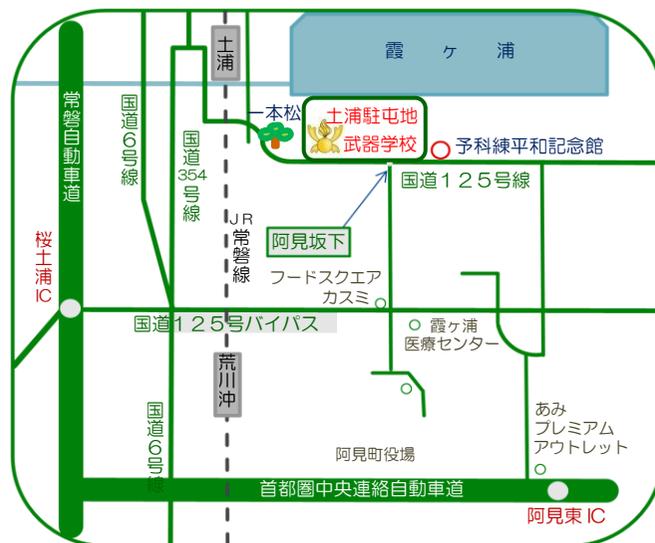
アクセス

【常磐線 土浦駅を利用】

- 土浦駅東口よりバス利用 いずれも「武器学校前」にて下車
- ・関鉄バス→「阿見公民館」または「若栗」行き 約15分
- ・JRバス→「江戸崎」行き 約15分

【自家用車を利用】

- 国道125号線沿いにあります。
- ・常磐自動車道→「桜土浦」ICから約15分
- ・首都圏中央連絡自動車道→「阿見東」ICから約15分



お問い合わせ先

陸上自衛隊 土浦駐屯地 武器学校

広報援護班

〒300-0301

茨城県稲敷郡阿見町青宿121-1

TEL 029-887-1171

(内線230~233)

HP 武器学校トップへ

http://www.mod.go.jp/gsdf/ord_sch



陸上自衛隊

土浦駐屯地

武器学校

Ordnance school



守りたい人がいる
陸上自衛隊

武器学校の紹介

昭和15年当時



現在の駐屯地



〔歴史〕

土浦駐屯地は、大正10年に「霞ヶ浦海軍航空隊」として開設され、昭和15年に「土浦海軍航空隊」と改称し、旧海軍のパイロットを育成するため、海軍飛行予科練習生（予科練）の教育訓練を終戦まで行っていた歴史ある駐屯地です。

〔現在〕

陸上自衛隊土浦駐屯地 武器学校として、約500名の職員で陸上自衛隊の装備する車、戦車、装甲車などの車両、小銃、機関銃、大砲などの火器、誘導武器、弾薬などの整備教育及び鍛造溶接など専門技術教育並びに上級指揮官・幕僚の運用教育を実施しています。



武器学校イベントの紹介

土浦駐屯地は年に2回、一般開放を実施しております。（予定）

4月 **桜の開花に伴う一般開放**
道路両側に植樹されており、お花見に最適です。

10月 **駐屯地創立記念行事**
装備品展示・常陸陣太鼓などイベントがもりだくさんです。戦車に乗ることもできます。多くの方々のご来場をお待ちしております。



見学のご案内

【雄翔園】 * 自由見学



本庭園は、第6代学校長「岡新次氏」が、予科練出身者の英霊の鎮魂碑建立にあたり、予科練の碑及びその周辺を造園、昭和41年5月に開園いたしました。

正面には予科練の碑を配し、芝生の中の7つの石は7つボタンを形取り、また全周に池を配置、外縁は日本列島を形取り造られています。

【雄翔館】 * 自由見学



予科練習生の生活や英霊の遺書、遺品等を永く保存して、その遺徳を後生に残すため、昭和43年11月に高松宮両殿下ご臨席のもと開館式が行われました。

航空母艦を模して建てられており、予科練出身者の遺影、遺書、遺品など約1000点が展示・保管されており、見学者の深い感銘を与えております。

* 予約が必要な見学場所 *

【火砲館】



火砲館には、旧軍の山砲、野砲が展示されています。

屋外装備品展示は、戦車などの装備品を展示しております。

小火器コーナーは、約170丁ほどの小銃、機関銃などを展示しております。（小火器コーナーは月1回限定。見学日はHPをご覧ください。）

【屋外装備品展示】



月曜日を除く平日のみ予約を承っております。ご予約の際には、電話にて当初調整をお願い致します。

【小火器コーナー】



TEL 029-887-1171

（内線 230~233）

詳細は武器学校 HP をご覧ください。

http://www.mod.go.jp/gsdf/ord_sch